


# しまねの土地改良だより

平成24年6月1日発行

 水土里ネット島根

## ■ 平成24年度第1回県土連理事会開催

平成24年度第1回県土連理事会が、5月24日午後2時30分から本会役員室において開催されました。

冒頭、宇津会長（浜田市長）から、去る3月18日にご逝去された段本幸男全国水土里ネット副会長に対し哀悼の意を述べられるとともに、出席者一同がご冥福をお祈りしました。

また、土地改良事業関係予算は依然として厳しい状況にあり、本会にもその影響が及んでいるが、今後とも引き続き本会の運営に対しご協力いただくよう述べられました。



続いて議事が行われ、始めに議事録署名人として長岡副会長（出雲市長）及び田中専務理事が選出され、その後、宇津会長が議長となり第1号議案から第3号議案まで審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。

また、会員との密接な連携強化を図るため、昨年度に引き続き、前年度の事業及び収支決算報告並びに意見交換会を、7月から8月にかけて実施していくことが決定されました。

### 【議案】

第1号議案 会務報告

第2号議案 諸規程の改正について

(1) 業務規程の一部改正について

- ・西部出張所を事務局直下に配置
- ・サブリーダーの配置

(2) 職員給与支給内規の一部改正について

- ・期末勤勉手当の引き下げ

(3) 農道台帳作成業務受託料の改正について

- ・台帳作成受託料329,000円／1km（2,000円アップ）

第3号議案 平成25年度職員募集について

- ・2名募集（大学卒業程度1名、社会人1名）

・平成24年度第1回県土連理事会開催	1
・平成24年度第1回県土連監事会開催及び平成23年度監査	2
・島根県農村災害支援協議会総会	2
・「たんぼの学校」棚田の草刈・代かき	3
・会員だより	3
・平成24年度管内別説明会及び意見交換会の開催について	4
・今後の主な予定	4

## ■ 平成24年度第1回県土連監事会開催及び平成23年度監査

平成24年度第1回監事会が、5月25日午前11時から本会役員室において開催されました。

議事では、会務報告及び平成24年度監査の実施計画が審議され、原案どおり承認されました。

続いて、午後1時から平成23年度事業報告・収支決算監査が実施されました。

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間の事業内容及び収支決算について事務局から報告後、監事3名により事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、総勘定元帳等の会計諸帳簿、伝票等証拠書類一式を精査いただき、その結果適正に処理されており正当であることが認められました。



### 平成23年度収支決算（一般会計）

当期収入	651,833,968円
前期繰越収支差額	32,159,600円
当期支出	657,411,933円
次期繰越収支差額	20,951,927円

（詳細につきましては、7月～8月開催の各管内説明会にて説明致します）

## ■ 島根県農村災害支援協議会総会

島根県農村災害支援協議会の平成24年度総会が、5月17日本会において、会員61名が参加し開催されました。

本協議会は、農業土木に関わりのある国、県、市町村等技術者（OBも）のボランティアにより、農村地域における農地・農業用施設等の防災・減災に向けた点検活動および維持管理の重要性を地域住民に理解してもらうための諸活動を行うとともに、災害発生時の迅速かつ的確な災害復旧対応を行うための各種支援をすることを目的に、平成19年4月設立されました。

開会にあたり、本協議会の田中会長（県土連専務理事）から、昨年の東日本大震災を始め、台風・集中豪雨、竜巻等々大災害が多発しており、県内でも何時大災害が起こるか分からない状況であります。いざの時、協議会として何が出来るか、支援できることを順次整理していく必要があります。また一方未然防止のため、ため池点検や地すべり施設の点検等、更に活動内容を充実させていく必要があります。そのため昨年からの活動経費として会費の徴収も始めたので、会員の皆様の更なるご理解ご協力をお願いしたいと挨拶されました。

続いて議事が行われ、平成23年度活動報告・決算報告、平成24年度事業計画・会費徴収・収支予算、役員補欠選任が上程され、いずれも原案通り承認可決されました。

今年度活動として、ため池点検、地すべり防止施設点検、農村災害復旧専門技術者講習会等が計画されておりますが、こうした災害未然防止活動を通じて、地域住民の防災意識の向上、福祉増進に少しでも寄与出来れば幸いです。

## ■ 会員だより

### ◆大塚地区農地整備事業（経営体育成型）起工式

5月11日能義平野東部に位置する安来市大塚地区で「大塚地区農地整備事業（経営体育成型）」の起工式と安全祈願祭が、多数の関係者が出席し執り行われました。

この事業は、島根県が事業主体となり、受益面積93.5ha、総事業費31億3千9百万円で、平成23年度から平成28年度にかけて実施されるものです。

標準区画は1haで、用水路は自然圧パイプライン（フォアシステム）を採用し、乾田化と水管理の省力化を図り、麦・大豆等の戦略作物や地域振興作物の生産性の向上を目指した整備内容となっています。

農業を取り巻く環境は米価の低迷等で厳しい状況にありますが、本事業の実施によりほ場の大区画化、農地の集約を通じ農業経営の安定化が期待されます。

## ■ 「たんぼの学校」 棚田の草刈・代かき

平成24年5月27日（日）、「たんぼの学校 草刈・代かき」が開催されました。素晴らしい晴天のもと、一般参加の方々、島根大学の学生さん、地元の方々、島根県職員、雲南市職員、そして本会職員の約50名が、代かき班と草刈班の二つに分かれ、心地よい汗を流しました。



### 今後の予定

#### 田植えコース

平成24年6月3日（日）

#### 棚田の自然調べコース

平成24年7月28日（土）予定

#### 稲刈りコース

平成24年9月30日（日）予定

#### 収穫祭コース

平成24年10月21日（日）予定



## ■ 平成24年度管内別説明会及び意見交換会の開催について

本会では、昨年度に引き続き、管内ごとに本会業務の説明会及び意見交換会を開催することといたしました。

島根の基幹産業であります農業の振興は不可欠であります。その農業生産を支える農地や農業用水路等の土地改良施設は老朽化が進み、更新時期を過ぎた施設も多くなりつつあります。そうした中で、国においては3月末に「土地改良長期計画」が閣議決定され、又島根県においても「しまね農業農村整備指針」が策定中であります。

そこで、今年度は島根県農村整備課から指針について講演いただき、行政関係者とともに、長期的展望に立った農業生産基盤の整備、土地改良施設の維持管理・更新等々につきまして、意見交換することを目的に開催します。

また併せて、本会の平成23年度の事業報告、収支決算状況等について説明することとしております。会員及び関係機関の皆様には、開催日程等が決定しましたらご案内いたしますので多数ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、現在開催日程が決定している管内は下記のとおりです。

- |           |        |                        |
|-----------|--------|------------------------|
| 7月 3日 (火) | 16:00～ | 益田管内 (益田市「三好家」)        |
| 7月 4日 (水) | 15:30～ | 隠岐管内 (海士町「マリポートホテル海士」) |
| 7月 6日 (金) | 15:30～ | 松江管内 (安来市「夢ランドしらさぎ」)   |
| 7月10日 (火) | 15:30～ | 雲南管内 (雲南市「ホテル上代」)      |
| 7月25日 (水) | 15:30～ | 出雲管内 (出雲市「ラピタ」)        |

## ■ 今後の主な予定

- |            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 5月30日～6月5日 | しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品展示 (益田市)      |
| 6月 3日      | しまねの農村景観フォトコンテスト表彰式 (益田市)         |
| 6月 3日      | たんぼの学校 (田植え) (雲南市)                |
| 6月 5日      | 土地改良施設維持管理適正化事業説明会 (本会)           |
| 6月26日      | 中四国土地連協議会総会・21世紀創造運動地方大賞表彰式 (高知県) |



みどりの  
**「水」「土」「里」**  
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水  
「土」・・・土地や農地  
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

**水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)**

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール [smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)